

作成 2022年3月28日
摂津市議会議員 松本暁彦

令和4年第1回定例会代表質問 ～本会議2日目 2022年3月7日～
議事録（抜粋）

（自民党・市民の会の松本議員が会派を代表して質問。内容は会派で検討したものである。）

4-1 児童虐待防止について

質問の背景：児童虐待防止については、昨年の市内でおきた児童虐待死事件を受けて、市は、担当部署である家庭児童相談課の強化など各種施策を行い、その防止力向上を図っている。令和4年度は予算を取り、その取組みが進められようとしている。

質疑概要：児童虐待防止に必要な孤立家庭防止の取組みについて確認するとともに、児童虐待防止の職員の能力強化等について議論を行った。

○松本議員

4-1 児童虐待防止について、虐待防止は喫緊の課題です。悲惨な事件を二度と繰り返すことの無いよう再発防止策が求められます。

会派として地域共育、地域で共に育てること、即ち、虐待の要因となる孤立家庭を地域ネットワークで防ぎ、かつ適切な子育て支援を行うことで、児童虐待防止を図るよう提言して参りました。

改めて、地域共育の観点から、令和4年度の取組みについてお聞かせ下さい。
（略※）

○森山一正市長

児童虐待防止に向けた現在の取組みについてであります。児童虐待は多くの場合、経済的・精神的な不安、地域からの孤立、家庭の不安等、様々な要因が重なったときに引き起こされます。孤立した子育て家庭をなくす事は、児童虐待を防止するために大変重要であると認識しております。

母子保健福祉施策におきまして妊娠届出時に妊婦全数面接を実施するとともに、保健師が妊婦の悩みに丁寧に対応しながらアセスメントを実施し、家族や地域での支援者の有無の把握に努め、子育てサークル紹介やつどいの広場の利用を促すなど、妊産婦の孤立防止に努めているところでございます。

今後、要保護児童対策地域協議会の様々な機関や地域と連携し、保護者の孤立をなくし、虐待の未然防止に努めて参ります。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

(略※)

○松本議員

4-1 児童虐待防止について、令和4年度の取り組みは理解しました。

そのうえで、検証報告書などで課題とされた虐待を見抜く力、虐待への対応力、そして子育てをサポートする力、これらをどう向上させるのかお聞かせ下さい。

(略※)

○次世代育成部長

児童虐待予防や対応能力の向上についてお答えいたします。

二度と悲しい事案を繰り返さないため、家庭児童相談課の職員等を対象に怪我の見立てや虐待対応についての研修を実施するほか、外部の専門家のスーパーバイザーによる多角的な視点での家庭へのアセスメントや虐待対応についての助言・指導をいただくことにより、その経験を蓄積し虐待を見抜く力や対応力の向上に努めて参ります。

また、児童虐待対応の経験がある専門職員を増員するとともに、チーム制の導入を予定しております。チームリーダーが牽引役となって、チーム内で培ったノウハウで、チームとして家庭とつながることにより、家庭や子どもにおけるリスクについて常に複数職員の視点でアセスメントを実施することで、アセスメント能力の向上を図って参ります。

さらには、母子保健の保健師や母子父子自立支援員、就学前施設の保育士等と連携し、様々な専門職の視点を取り入れた支援を実施することで、個々の職員の子育てをサポートする力も磨いて参りたいと考えております。

(略※)

○松本議員

4-1 児童虐待防止について、課題克服の取り組みを理解しました。

様々な力を結集して、子どもを守られるよう、そして地域共育・地域ネットワークを構築して孤立家庭をなくしていく、包括的取組みで児童虐待防止をしっかりと取り組まれるよう要望致します。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<代表質問 21 項目>

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]